



## 「羽島郡二町立志塾」の取組について

羽島郡二町教育委員会



### 1 はじめに

羽島郡二町教育委員会では、平成26年度より「羽島郡二町立志塾」を実施しています。事業の目的は次の通りです。

- 学校のリーダーが、更に「高い『志』」をもち、仲間と積極的に関わり、自ら考え、判断し、行動できる」真に自立した岐南町・笠松町のリーダーとなるよう、資質向上研修を行う。
- 地域の活動に関心をもち、地域においてもリーダーシップを発揮し、子供主体の活動になるための企画・運営に積極的に貢献できる研修を行う。

事業開始当初は、秋季休業期間に3泊4日の短期集団合宿の資質向上研修\*1を経て、後期の学校や地域での活動を推進していました。そして、コロナ禍の2年の休止期間を経て、令和4年度より、現在に続く分散開催型の研修事業へと変えていきました。

こうした事業により、急速に変化し先行き不透明な未来社会において、学校をリードしていく児童生徒の育成を継続的に図り、共通の目的のために、お互いに知恵を出し合い、責任ある決断と行動がとれる「意志あるリーダー」を育てています。

### 2 実施組織及び参加者

#### (1) 活動組織

- ① 主催 羽島郡二町「立志塾」実行委員会
- ② 実行委員会
  - ・ 塾長 教育長職務代理者
  - ・ 実行委員 教育長、学識経験者、総務課長、社会教育課長、学校教育課長、主幹
  - ・ 運営委員 教育委員会職員（総務課、社会教育課、学校教育課）
  - ・ 指導助言 教育委員
- ③ 講師（今日的な課題に対する講師\*2、リーダーの資質向上の講師\*3、立志塾OB）

#### (2) 参加者

- ・ 児童会・生徒会執行部等で活動したいと願う意志ある児童生徒  
※ 毎年5月から6月にかけて羽島郡内全小中学校から32名程度を募集する。

### 3 活動内容

#### (1) 研修会1日目

- ① 日時 令和6年7月29日(月) 13:30~16:30
- ② 会場 岐南町中央公民館 講堂
- ③ 研修内容
  - (ア) 羽島郡二町「立志塾」の研修目的・内容を理解する。
  - (イ) 立志塾塾長・教育長の話聞き、研修目的を考える。
  - (ウ) 岐阜県教育委員会 義務教育総括監 青木 孝憲 様の講話
  - (エ) 高山研修に向けて説明を聞き、研修の目的を知る。



\*1 乗鞍青少年交流の家をベースに、文部科学省職員による講話、外部講師によるワークショップ、テーマ別討論会、高山市内小中学校との交流、ミュージカルへの参加などの多彩なプログラムが組まれていた。

\*2 令和4年度講師は、NPO法人岐阜立志教育支援プロジェクト理事 井上 武 様  
令和5年度講師は、社会政策課題研究所 所長 江崎 禎英 様  
令和6年度講師は、岐阜県教育委員会 義務教育総括監 青木 孝憲 様

\*3 平成26年度より講師は、飛騨・世界生活文化センター 統括 六角 裕治 様

#### ④ 児童生徒の振り返り

- ・僕は、西小学校では「ボランティア活動」、北小学校では「あいさつ」「教え合い」が学校自慢であることが分かりました。東小には、スマイル活動があるので、さらに他の学校のよさも取り入れられるようにがんばります。
- ・私は「話しかけられやすいリーダー」になりたい。組織にはがんばるリーダーとともに、支えてくれる仲間が必要です。私は「これしかない」と決めつけず、「相談されるリーダー」「仲間の意見を取り入れられるリーダー」を目指します。

### (2) 研修会 2 日目

- ① 日 時 令和6年8月7日(水) 7:00~18:00
- ② 会 場 飛騨・世界文化センター 高山市内
- ③ 研修内容  
(ア)飛騨・世界文化センター 六角 裕治 様 講話  
(イ)高山市内グループ研修
- ④ 児童生徒の振り返り



- ・講話を聞いて、リーダーが大切にすべきことで、新しい視点がたくさんあった。「差別はしない。でも、区別は必要である。」「好きなことをするときばかり、リーダーになってはダメ。」は大切なことです。そういう視点を持って生徒会を動かせるリーダーになっていきたいです。
- ・発表には、どのような準備をするのかを具体的に教えてもらいました。しっかりした調査分析をすることで、説得力のある発表ができるようになりたいです。

### (3) 研修会 3 日目

- ① 日 時 令和6年10月9日(水) 13:30~16:30
- ② 会 場 岐南町中央公民館 講堂
- ③ 研修内容  
一般社団法人ココラボ代表理事 伊藤 大貴 様 をファシリテーターに招き「よりよい学校生活にするために何ができるか」をテーマにしたグループ討議
- ④ 児童生徒の振り返り



- ・学校ごとで、どんなことが課題なのか、どうやって解決しようとしているかを交流できました。自分の学校では、このことを参考にして、掃除の取組をしていきたいです。
- ・「自ら動く」「協働」ができる活動として、地域活動に取り組みます。地域の方たちと意見を交わし、社会のためという意識をもてる学校・生徒会にしていきたいです。

#### ⑤ 各学校での継続的な取組

第2回研修会～第4回研修会の12月27日(金)まで、羽島郡二町教育委員会の主事がそれぞれの学校を担当し、学校改善プランを練り上げるために、定期的に進捗状況を塾生と相談する連携会議(対面・オンライン併用)を実施しています。

### (4) 研修会 4 日目

- ① 日 時 令和6年12月27日(金) 9:30~12:00
- ② 会 場 岐南町中央公民館 講堂
- ③ 研修内容  
岐南町長・笠松町長を招待し、各校の学校改善の取組・成果を発表し、講評をいただく。

## 4 今後に向けて

この事業によって、各学校の意志あるリーダーが集うことができ、そのリーダーたちはよい意味での刺激を感じている。また、そのリーダーたちが主体となって自発的・自治的な活動が各学校で活性化されると、子供の意見がよい方向に取り入れられる学校風土が醸成されることが期待される。

今後も研修会と連携会議をさらに充実させることで、児童会・生徒会活動が一層機能し、リーダーとともに羽島郡二町の全児童生徒にも人としての豊がさが育まれるよう、働きかけていきたい。